

巻頭言

第82巻の発刊にあたり



野田俊治*

「電気製鋼」第82巻の発刊にあたり、今年3月11日に発生した東日本大震災で被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一刻も早い復興がなされますよう心からお祈り申し上げます。

この大震災は、2008年後半に発生したリーマンショックに端を発した世界同時不況から、日本経済がようやく新興国の経済成長に支えられ、順調に回復してきた最中のできごとでありました。日本経済は再び大打撃を受け、現在は一刻も早い被災地の復興と日本経済の立て直しが急務であります。特に今回原子力発電所が起こした大事故は、原子力に依存した世界各国のエネルギー政策を根本から見直させようとしており、従来の化石燃料による発電に加え、太陽光、風力やバイオマスなど、自然エネルギーと、これらを活用するスマートグリッドの開発推進が、今後ますます加速するものと思われます。一方で、電気を使う、家電、産業機械や輸送機器などは、さらなる省エネ化が求められ、このための各種技術開発がこれまで以上に激化するものと考えられます。

このような状況において、本誌第82巻では、本第1号で「磁性・電子材料特集」を、第2号では「塑性加工特集」をお届けいたします。本第1号の「磁性・電子材料特集」では、まず電気磁気材料研究所の増本理事長の随想に始まり、これからの環境対応自動車であるハイブリッド車や電気自動車による電動化に不可欠なモーター用のNd-Fe-BやSmFeN磁石、リチウムイオン電池用材料、モーターをコントロールするインバータやそれに用いられるリアクトル用材料と各種センサ材料、さらにはEMC関連の磁気シートなど、16件の記事を掲載致しました。今後ますます社会的要求が高まる、磁性・電子材料の高性能化による省エネ化へ寄与していきたいと考えております。

今後、我々が置かれる社会環境の変化は速く、激しいものになることが予想されます。本誌では変化を敏感に捉え、情報および技術の発信をタイムリーに行っていききたいと思っております。

*大同特殊鋼(株)取締役研究開発本部副本部長